

琉球大学理学部海洋自然学科の皆さん 計30名が実習で来所・施設見学

2011年6月13日



琉球大学理学部海洋自然学科の立原准教授と学生さん達

みんなで記念撮影。

なぜか、キャベツを持った学生さんが(前中央)??

答えは後で!



ヒメジャコの稚貝を観察。

では、ヒメジャコ稚貝(約10mm)はいくらで配付しているでしょう??
恒例のヒメジャコ稚貝オークション!

今回は、最高値500円、最安値100円で、
中値198円(スーパーの特売か?)でした。

実は、0.7円/mmです。10mmの稚貝だと1個7円です。



海面生簀の魚たちを観察。
マダイの稚魚(上左)、スギの幼魚(上右)に興味津津。
揺れるイカダを怖々歩く学生諸君。

「種苗生産で一番大切なものは何でしょうか??」という案内人の問いに、
一人の学生さん、曰く、「親です。」と回答。
正解!!!

案内人の「意図する答え」を返してくれたのは、この学生さんが今までで初めてでした。
立原先生、この学生さんに「優」をあげてください。!



ハマフエフキ(日齢60)の中間育成水槽で。



地下海水の取水井戸とポンプの前で。
溶存酸素量がほぼゼロの地下海水に空気を吹き込み、
溶存酸素量を増やす手作りツールにちょっと感心して頂きました。



**ワムシの栄養強化水槽で。
海産魚類の必須な脂肪酸は何ですか？**



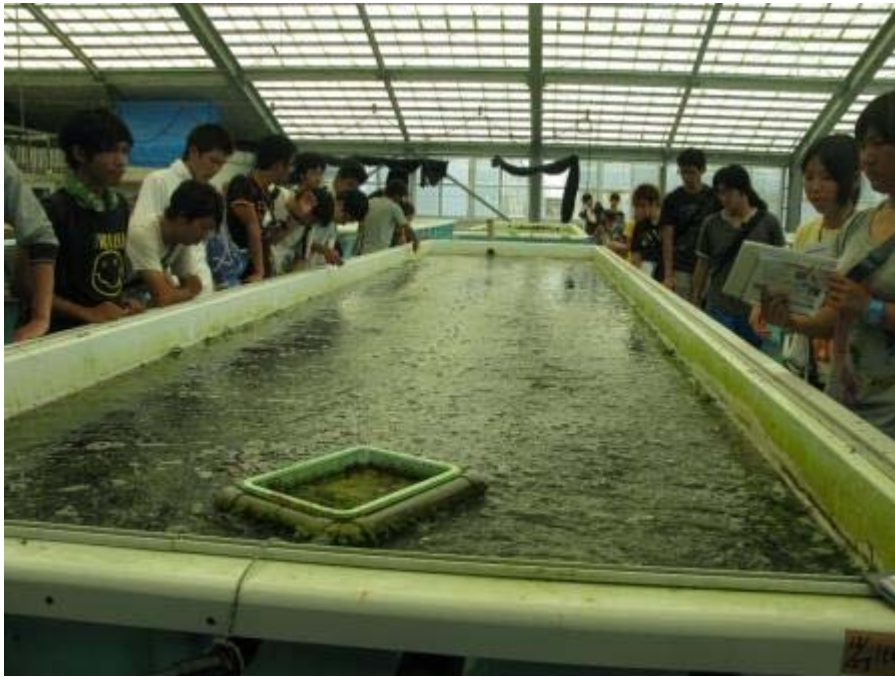
**ヤイトハタの種苗生産水槽で。
日齢27のミーバイの赤ちゃんです。
背鰭と腹鰭の棘が伸長した宇宙船のような稚魚です。**



親魚水槽で。
写真左:ハマフエフキの親魚水槽、写真右:ヤイトハタ親魚水槽
一番年長のヤイトハタは、学生さん達と同一年でした。



S型ワムシの大量培養水槽で。
餌の淡水クロレラを「青汁」と言っていた学生さんがいました。
飲むと健康に良いかもしれませんし、ワムシの気持ちがよくわかるかも？



シラヒゲウニの採苗水槽で。
この水槽に陸草が……、なぜ???

水槽内の陸草をゆっくり摘み上げると……。
草に栗が実っています!?
いいえ、ウニがかじり付いていました。



シラヒゲウニの中間育成カゴ飼育水槽で。
なんと、カゴの中にはキャベツが!!!
な、な、なんで!???



ここは青果市場ではありません。
ウニ飼育棟の通路に置かれたたくさんのキャベツ。
これ、みんな、ウニの餌です。
大食漢のシラヒゲウニの餌確保に悪戦苦闘しています。

トップの集合写真で学生さんがキャベツを持っていた理由、おわかり頂けましたか？

炎天下の中、2時間にわたる見学、お疲れ様でした。
当センターの業務をご理解頂けたでしょうか。

案内人は、しゃべり疲れてましたが、楽しい案内でした。

見学レポート作成にあたり、いろいろとヒントを載せていますので、ご利用下さい。
(先生に叱られるかな??)

立原先生、また来年もどうぞご利用下さい。

ありがとうございました。